

牛体調モニタリングシステム（CAPSULE SENSE）導入

動物科学科 実習日：令和7年2月

【実習内容】

2年生の総合実習で太平洋工業株式会社が開発した「牛体調モニタリングシステム（CAPSULE SENSE）」の子機を繁殖牛2頭に経口投与しました。発情、分娩、疾病を検知し、スマホに通知がきて確認できるようになります。



図1 子機、子機投入治具



図2 子機を経口投与している様子

【システム導入の理由】

実習中に牛体調モニタリングシステム（CAPSULE SENSE）を投与した牛は、令和7年3月～4月に分娩予定です。令和9年 全国和牛能力共進会北海道大会の出品候補牛の人工授精は令和7年3月27日～9月14日の期間になり、分娩後の人工授精をするタイミングが大事になるため導入しました。



図3 子機とスマホへの通知について説明

～生徒の感想～

耳標にスマホのカメラを近づけるだけで牛の登録ができてすごい!!

本校の肥育牛にも導入して、体調管理をデータ化したい（令和7年4月導入予定）。

大雪警報とかで学校に行けなかった時、牛の体調が心配だった。スマホで牛の体調を確認できていい。

実際に牛舎に行って、牛の行動（起立するときの動きや飼料を食べる時の様子など）や姿、ふんの状態などを観察し、記録することも大切にしていきます!!

